

【寄附目標額達成（令和5年10月17日更新）】

【岩見沢校】

岩見沢校100周年記念事業
集まり、つながる
CO-RE（コレ）カフェ事業

（総事業費：1,500万円）

寄附目標額：225万円

※ご支援頂いた寄附金は、「事業計画」に基づく事業など、キャンパス、附属学校園の「修学環境等を整備する事業」の実施に活用します。



事業代表者
岩見沢校キャンパス長
山本 理人

事業計画に関するお問い合わせ

国立大学法人北海道教育大学岩見沢校
広報・地域連携グループ

<https://www.hokkyodai.ac.jp/iwa/>
〒068-8642 岩見沢市緑が丘2丁目34番地

電話:0126-32-0310/0126-32-0312
FAX:0126-32-0251
E-mail: iwa-koho@j.hokkyodai.ac.jp



皆様の【共感】が、
キャンパスを再生します。

キャンパスの再生と創造への「共感」。

【岩見沢校】CO-RE（コレ）カフェ事業

(総事業費：1,500万円)

寄附目標額：225万円

つながる喜びを味わう、新たなカフェスペースへ。

岩見沢校では、未活用のスペースを利用し、学生や地域の人々が気軽に集まり、交流できるカフェスペースを設置する計画を進めています。学生同士の交流や情報共有の場が生まれ、地域の人々も大学を訪れて学生との交流をもつことができます。これにより、新たなつながりが生まれ、地域の活性化に寄与できると考えています。



岩見沢校中央棟（昭和54年築）
鉄骨造3階建 延べ床面積7,014㎡
【概要】岩見沢校中央棟は各建物を繋ぐ役割があり、多くの学生が利用します。



岩見沢校は、創立100周年を迎えました。「地域と共にあゆみ、共に作る」をスローガンに、地域活性化に取り組んで参ります。私は、岩見沢校の資源を地域に開放することで、街中が芸術・スポーツに溢れ、市民一人一人がウエルビーイングを目指す街になればと考えています。このスペースがその起点となり、多くの繋がりが岩見沢市の活性化の力になれると信じています。
岩見沢校キャンパス長 山本 理人



私は、「岩見沢ねぶた祭り」の実行委員長を努めていますが、学生同士や、市民の方との打ち合わせをする機会が多いので、こういったスペースがあると活用できると思います。（個人的にもコーヒーが好きなので）大学にカフェスペースがあると雰囲気も明るくなるし、学生同士や地域の方とのコミュニケーションが活発になり、より良いアイデアが生まれると思います。
(芸術・スポーツビジネス専攻4年 中島聡一郎)

事業費

床壁天井の改修	800万円
光熱水設備の拡充	120万円
什器の設置	380万円
視聴覚設備の設置	200万円
総事業費	1,500万円

予算

寄附金	225万円
学内予算	1,275万円
合計	1,500万円

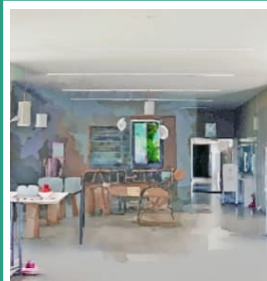
現状、問題・課題点



スペースはあるものの、照明が弱く薄暗い学生ホール

岩見沢校では、芸術、スポーツ、ビジネスの融合や地域との連携を重視して取り組んでいますが、現在、大学内にある、学生が気軽に集えるスペースは、主に学生食堂が主で、学生数に対して、座席数が圧倒的に少ない状況です。また、大学を地域の皆様に開放していきたいと考えていますが、「大学は敷居が高い」「入りにくい」という意見をいつも頂戴しています。

事業イメージ、事業による成果



気軽に集まれる、明るい雰囲気のカフェ

大学内のスペースは、未活用のままでは資源の浪費となります。しかし、私たちはこのスペースを有効活用し、学生のコミュニティの強化や地域との交流を促進したいと考えています。私たちは、このカフェスペースを通じて学生の成長や地域社会の発展に貢献したいと考えています。このカフェスペースは、学生や地域の人々が気軽に集い、アイデアや情報を交換し、新たな関係を築く場となるでしょう。

【状況等】

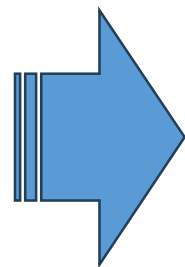
寄附の目標額を達成しました。

本事業に、たくさんのご関心と応援をお寄せいただきありがとうございます。公募から短い期間でありましたが、当初の目標額を達成することができましたことを、心よりお礼申し上げます。目標額達成に伴い、学生の期待に一刻も早く応えるべく改修整備工事へ向けて進めてまいります。工事が完了の際は、改めて皆様にご報告申し上げます。

令和5年10月17日
岩見沢校キャンパス長 山本 理人

薄暗い空きスペースを、集まり、つながり、活気溢れるアーツ&スポーツカフェにリノベーション

【現状】



広いスペースがあり、椅子があるものの、ベンチのみで、休憩以外にあまり使われてはいない。また、天井の高さの割に、照明が少ないため、奥の方には光が届かずに薄暗い。

【構想】



【リノベーションの内容】

- 床の張替え、天井・壁の補修→全体的な色調を明るく変更
- カフェテーブル、チェアの設置→ディスカッション可能なテーブルを設置
- 給湯、給排水設備の整備→給排水の整備、給湯器用のガスパイプ敷設
- ピクチャーレール、スポットライトの設置→学生作品を展示可能に
- ピアノ（アップライト）の移設→カフェでの演奏用
- 音響設備の整備→パブリックビューイング等で活用

【コンセプト】

学生や教職員の活動だけでなく、地域の人々も利用できることで、異なる世代やバックグラウンドを持つ人々が交流し、情報や意見を交換する場として活用されます。

CO-REには、核という意味。

COには、Collaboration（協働）、Community（地域）、Congregate（集まる）、Connect（繋ぐ）という意味が、REは、Relate（共感）、Respect（尊敬）という意味が込められています。

様々な活用方法で大学内と地域を活性化

学生が集えるディスカッションスペース

今までは、専攻を問わずに学生が集まれるスペースがあまりありませんでした。このカフェスペースをきっかけに、隣接する図書館ラーニングcommonsと接続することで、図書館の利用増と修学環境の向上という相乗効果が見込めます。



生演奏が響くミュージックカフェ、アートが溢れるキャンパスへ



スペースの壁を全面改修し、ピクチャーレールやスポットライトを設置し、学生や教員の美術作品が展示できるようにします。また、校内のピアノを移設し、小規模な演奏会も可能にします。学生の成果発表の機会を増加させることで、教育の効果を高めるほか、岩見沢校内の至るところをアートで溢れさせ、将来的には、その拡がり大学を越え、岩見沢市全体にアートや文化を息づかせたいと思っています。



設置予定の場所は、美術、音楽、スポーツ、ビジネスの学生の居場所が交差する場所にあり、学生が集いやすいロケーションです。

観戦文化を醸成するパブリックビューイング

地域の住民やファンが一堂に会することで、コミュニティの結束力が高まります。観戦を通じて共通の興奮や感動を共有することで、地域の誇りやアイデンティティが形成され、コミュニティの活気や交流が生まれます。

全国大会に出場する岩見沢校の試合などを観戦し、地域一体となって盛り上がりましょう。



地元の方も使用でき、繋がれるコミュニケーションスペース



岩見沢校内で行われているスポーツ事業に子どもが参加している親御さんの休憩、待ち合わせに、地域の企業の方の coworking space に、また、地域の方と学生達との交流がどんどん生まれることで、大学内が活性化されることを期待しています。

地元飲食店の催事出店による地域活性化

完成後は常設のカフェスペースとして利用するほか、岩見沢市内にあるコーヒーショップや、ベーカリーといったカフェの催事出店を予定。

地域の飲食店が催事出店することで、学生と地域住民の交流が促進されます。学生は地域の飲食文化を体験する機会を得ることができ、地域の方との交流を通じて地域の魅力や文化に触れることができます。地域の方も気軽に大学を利用することで、学生との交流の場を持つことができます。